

①連携事業進捗管理

- ・初年度評価 →次年度方向性確認
- ・新規、拡充事業 →事業審査
- ・都市圏ビジョン改訂作業



・幹事会の中で予算編成前(9月頃)までに次年度予算・評価手法等の整理を行う→協議会での承認

②広域行政(圏域)の運営

- ・各種会議における協議
(協議会・幹事会・ビジョン懇談会等)
- ・構成市町との個別協議



・協議会は10月頃開催予定(幹事会は随時)
・ビジョン懇談会はビジョン内容だけに止まらない各種調査や検討状況等の提示による幅広い意見聴取(開催時期未定)
・議会参画整理

③各種調査(研究)

- ・圏域における都市機能分担(ハード)・行政事務集約(ソフト)に係る現状把握
- ・圏域における行政課題抽出・解決策・実施体制検討
※圏域の歴史・文化・産業等といった多方面での繋がりを把握



・圏域における市民サービス提供のあり方等について調査・研究予定(QSP※活用)
※九州西部地域大学・短期大学産学官連携プラットフォーム

④新規事業検討

- ・上記、行政課題抽出、他圏域の取組事例研究等による新たな連携事業の構築検討
→庁内関係課・構成市町担当課との協議



・先進地視察等事例調査やコンサルによる新規提案検討等

⑤広域法制化(新制度)検討

- ・第32次地制調における広域行政法制化等の内容精査・検討等



・随時情報収集実施

⑥連携事業を進めるに当たっての県との役割分担整理(権限移譲等含む)



・必要に応じて適宜対応

⑦中枢中核都市の機能強化に係る各種支援策活用検討



・国が示した中枢中核都市の機能強化に係る各種支援策活用を視野に入れた取組み検討

- 【支援策】
- ・省庁横断支援チームによるハンズオン支援
 - ・地方創生推進交付金による支援
 - ・その他支援策